

2022年（令和4年） 研究業績

講座名：一般教育研究室（物理）

所属長名：田中 和廣

区分	番号	学位論文	全著者名,論文名,掲載誌名, 掲載年 ; 巻 (号) : ページ番号	国際共同
英文原著	1		Y Kiyoy, M Takeuchi, Y Uesaka, M Yamanaka. Charged lepton flavor violation associated with heavy quark production in deep inelastic lepton-nucleon scattering via scalar exchange. Journal of High Energy Physics, 2022; 04: 044 [38 pages].	
区分	番号		全著者名,論文名,掲載誌名, 掲載年 ; 巻 (号) : ページ番号	国際共同
英文症例報告	1		K Tanaka. Three-loop Corrections to the Quark and Gluon Decomposition of the QCD Trace Anomaly and Their Applications. JPS Conference Proceedings, 2022;37: 020405 [5 pages].	
区分	番号		全著者名,書籍名,出版社名, 出版年, ページ番号等	国際共同
和文著書	1		初田真知子, 伊知地国夫, 矢田雅哉. 身近な素材で実験する物理. 丸善出版. 2022年. 1-200.	
区分	番号		発表者名,発表タイトル (題目・演題・課題等) ,学会名,場所,発表年月日等	国際共同
国内学会発表	1		田中和廣. クォークおよびグルーオンのエネルギー運動量テンソルのそれぞれへのトレースアノマリーとn中間子の質量公式・重力形状因子への応用. 日本物理学会 第77回年次大会, オンライン開催, 2022年3月17日	
国内学会発表	2		川村浩之, 田中和廣. B中間子の光円錐波動関数と擬波動関数の摂動的マッチングについて. 日本物理学会 第77回年次大会, オンライン開催, 2022年3月17日	
国内学会発表	3		矢田雅哉,初田真知子, 佐々木伸, 森遥. Heterotic DFTにおけるカレント代数の導出. 日本物理学会 第77回年次大会, オンライン開催, 2022年3月17日	
国内学会発表	4		田中和廣. n中間子の重力形状因子に対するQCD和則. 日本物理学会 秋季大会, 岡山理科大学, 2022年9月7日	
国内学会発表	5		川村浩之, 田中和廣. ブースト変換した非局所演算子に基づく準(擬)パートン分布関数の因子化. 日本物理学会 秋季大会, 岡山理科大学, 2022年9月7日	
国内学会発表	6		山中真人, 清裕一郎, 竹内道久, 上坂優一, レプトンフレーバーを破るレプトン-核子散乱の高精度定式化による新物理探索, 日本物理学 秋季大会, 岡山理科大学, 2022年9月6日	